

1. 調査の概要

- (1) **調査目的** 第6次総合計画の施策について、市民意識に拠る成果指標の現状の値を把握し、実施計画のローリング等に活用するため
- (2) **調査内容** ① 施策の成果指標等（市民の意識に拠る指標）に関する調査
② 「暮らしやすさ」の実感等に関する調査
③ 施策に対する重要度・満足度に関する調査
- (3) **調査対象** 市内在住の満18歳以上の市民2,000人（住民基本台帳から無作為抽出）
- (4) **調査期間** 令和6年11月～12月
- (5) **調査方法** 調査票を郵送配布、回答は郵送又はWeb(e-kanagawa)

(6) **回収状況**

配布数	有効回答数 (郵送:66.6%、Web:33.4%)	有効回答率	未回収件数
2,000	918	45.9	1,082

2. 調査結果

① 施策の成果指標等（市民の意識に拠る指標）に関する調査結果(1/2)

前回と比較して上昇した指標数		前回と同じ値の指標数		前回と比較して低下した指標数			
12		1		27			
施策名等	成果指標名	前回 (R5)	今回 (R6)	施策名等	成果指標名	前回 (R5)	今回 (R6)
1.防災	災害への備えに取り組んでいる家庭の割合	49.1%	53.0%	8.健康づくり	日頃、自分の健康に気を配っている人の割合	69.1%	69.6%
1.防災	災害に対する市の備えが十分だと思う市民の割合	35.9%	31.2%	8.健康づくり	定期的に健康診査等を受けている人の割合	75.5%	76.4%
2.消防・救急	消防・救急体制に対して安心感を持つ市民の割合	60.5%	56.2%	9.地域医療	安心して医療機関を利用できると感じる市民の割合	79.1%	78.4%
3.防犯・消費生活	地域の治安が良いと感じる市民の割合	76.9%	70.7%	9.地域医療	かかりつけ医がいる市民の割合	67.5%	86.6%
3.防犯・消費生活	消費生活相談窓口を知っている市民の割合	40.3%	37.4%	10.運動・スポーツ	週に1回以上運動やスポーツをする人の割合	61.0%	64.1%
4.交通安全	交通マナーが良いまちだと感じる市民の割合	50.8%	51.6%	13.若者・青少年	子ども・若者が生き生きとしていると感じられる市民の割合	40.3%	40.3%
5.地域福祉	困った時に相談できる人や場所がある市民の割合	46.9%	50.3%	15.教育環境整備	安全で快適な教育施設が整備されていると感じる市民の割合	36.6%	34.3%
6.高齢者福祉	老後も住み慣れた地域で安心して暮らせると感じる市民の割合	53.9%	51.7%	16.生涯学習	生涯学習ができる環境が整っていると感じる市民の割合	29.3%	25.0%
7.障害者福祉	障害者差別解消法の認知度	10.1%	8.7%	17.歴史文化	本市の文化財が適切に保存・活用されていると感じる市民の割合	52.8%	47.0%

令和6年度市民意識調査の結果について

① 施策の成果指標等（市民の意識に拠る指標）に関する調査結果(2/2)

施策名等	成果指標名	前回 (R5)	今回 (R6)	施策名等	成果指標名	前回 (R5)	今回 (R6)
17.歴史文化	本市の歴史文化に誇りや愛着を感じる市民の割合	53.4%	50.6%	31.コミュニティ・市民協働	自治会等の地域コミュニティが生活に重要であると思う市民の割合	53.1%	51.8%
18.商工業	商工業ににぎわいを感じる市民の割合	14.0%	13.9%	32.人権・男女共同参画	人権について考えたことがある市民の割合	48.3%	47.3%
19.観光	観光地としてお勧めしたいと感じる市民の割合	48.1%	47.7%	32.人権・男女共同参画	犯罪被害者等のための相談窓口を知っている市民の割合	12.2%	42.3%
21.地球・生活環境	カーボンニュートラルに取り組んでいる市民の割合	30.9%	28.7%	33.平和・多文化共生	平和や国際交流に関心がある市民の割合	52.6%	51.3%
22.循環型社会	家庭ごみの減量・分別排出に取り組んでいる市民の割合	85.0%	82.1%	34.広報・シティプロモーション	必要な市政情報を手軽に入手できる環境が整っていると思う市民の割合	45.2%	41.4%
24.都市整備	賑わいと魅力あるまちづくりが推進されていると感じる市民の割合	18.8%	22.2%	35.行財政運営	必要な行政サービスが適切に提供されていると思う市民の割合	41.2%	39.1%
25. 道路	安全で快適な市域の道路ネットワークが整備されていると思う市民の割合	29.7%	31.9%	36.公共マネジメント	公共施設を利用しやすいと思う市民の割合	40.8%	35.2%
26.公園・緑化	身近に親しめる公園が整備されていると思う市民の割合	37.2%	36.4%	37.ICTの活用	ICTを活用した便利な行政サービスが提供されていると思う市民の割合	34.0%	32.6%
28.住宅	安全で安心して暮らせる住まいが実現されていると感じている市民の割合	49.1%	49.7%	総合戦略 数値目標	市の魅力が効果的に発信できていると感じる市民の割合	24.2%	23.4%
29.景観	伊勢原らしい景観が保全されていると思う市民の割合	43.2%	45.1%		安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると思う市民の割合	37.8%	34.0%
30.公共交通	快適で利用しやすい公共交通ネットワークが形成されていると思う市民の割合	48.2%	45.9%		伊勢原市に住み続けたいと思う市民の割合	72.8%	70.2%

② 「暮らしやすさ」の実感等に関する調査結果

調査項目名	選択肢	前回 (R5)	今回 (R6)
1. 伊勢原市は暮らしやすいまちだと思いますか。	そう思う	22.9%	23.5%
	どちらかといえばそう思う	59.9%	61.2%
	どちらかといえばそう思わない	12.5%	10.2%
	そう思わない	4.7%	5.1%
2. 上記1を判断する上で、暮らしやすいと思う理由は何ですか。(3つまで選択可)	首都圏などからのアクセス性	—※	24.3%
	自然環境		27.2%
	医療環境		23.3%
	公園・道路・公共施設などの住環境		6.5%
	防災・防犯対策		2.7%
	自治会などの地域コミュニティ		2.5%
	子育て・教育環境		2.8%
	福祉サービス		1.9%
	商業・店舗などの生活利便性		8.1%
その他	0.7%		

※設問項目の変更のため、比較不可

② 「暮らしやすさ」の実感等に関する調査結果

調査項目名	選択肢	前回 (R5)	今回 (R6)
2. 上記1を判断する上で、暮らしにくいと思う理由は何ですか。(3つまで選択可)	首都圏などからのアクセス性	—※	9.3%
	自然環境		3.7%
	医療環境		5.6%
	公園・道路・公共施設などの住環境		18.5%
	防災・防犯対策		7.1%
	自治会などの地域コミュニティ		5.6%
	子育て・教育環境		13.8%
	福祉サービス		9.7%
	商業・店舗などの生活利便性		22.8%
	その他		3.9%

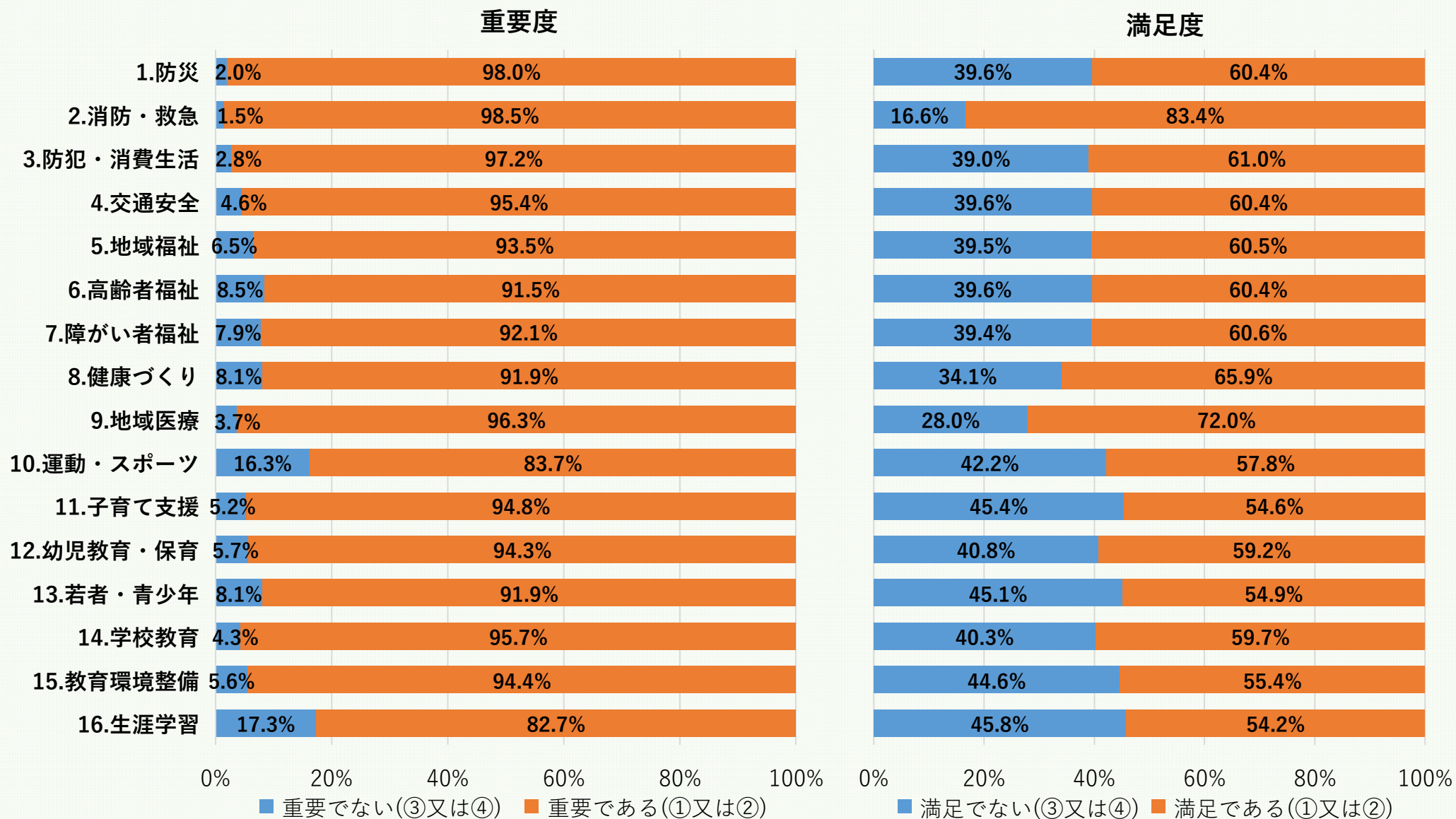
※設問項目の変更のため、比較不可

③ 施策に対する重要度・満足度に関する調査結果(1/3)

▶ 施策の重要度及び満足度を4段階で回答

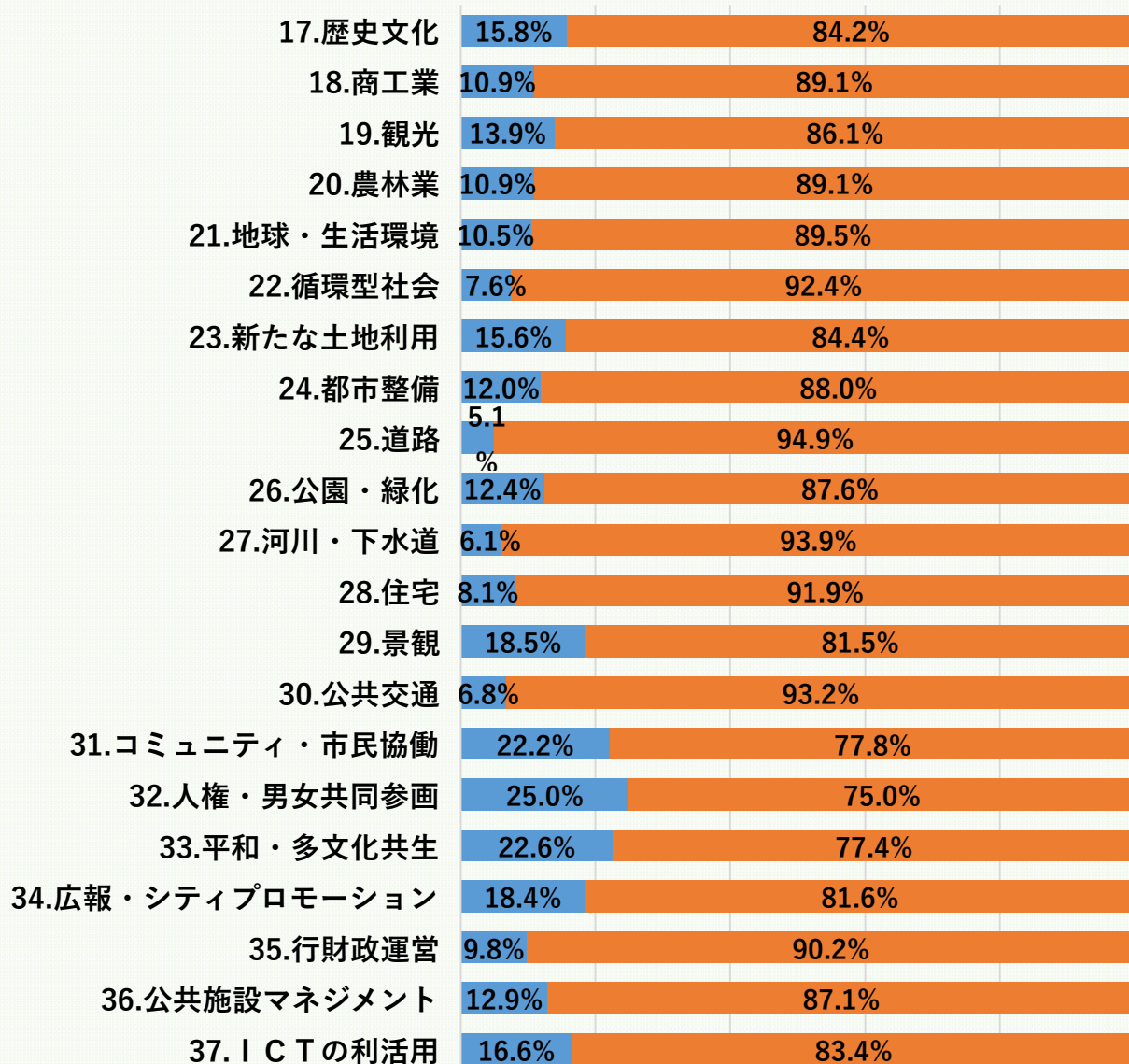
重要度：①重要である ②やや重要である ③あまり重要でない ④重要でない

満足度：①満足である ②やや満足である ③あまり満足でない ④満足でない

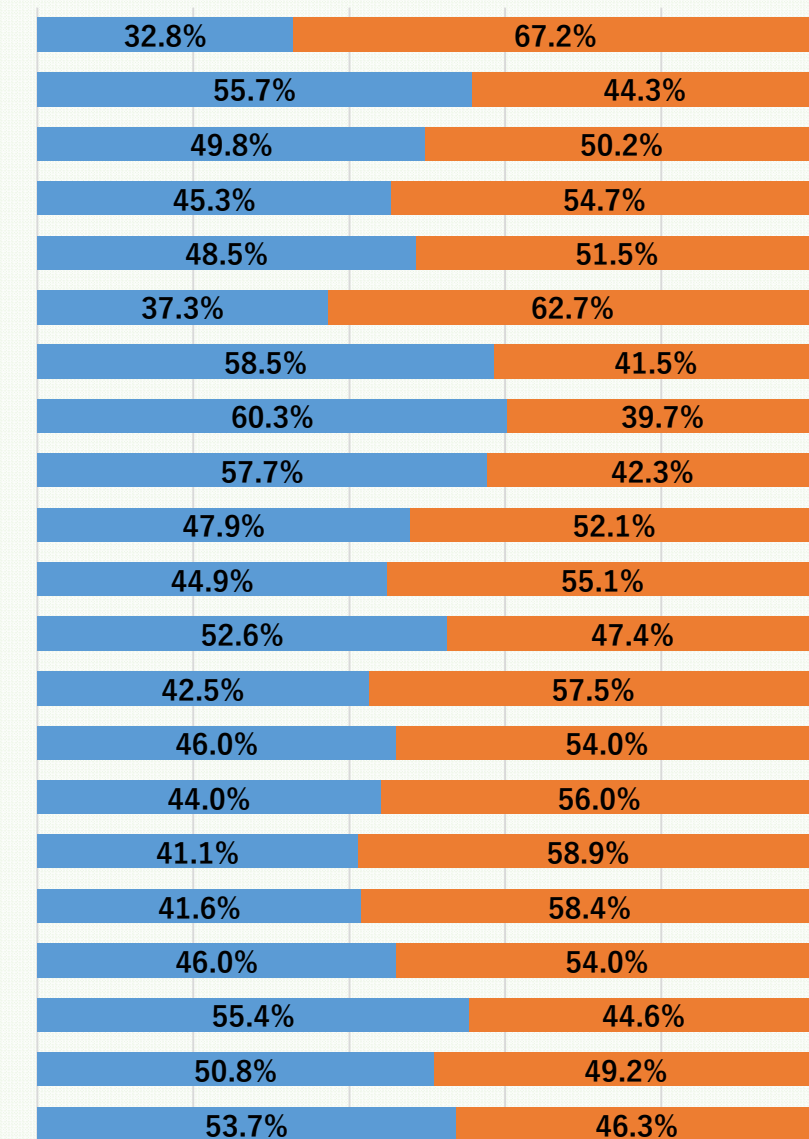


③ 施策に対する重要度・満足度に関する調査結果(2/3)

重要度



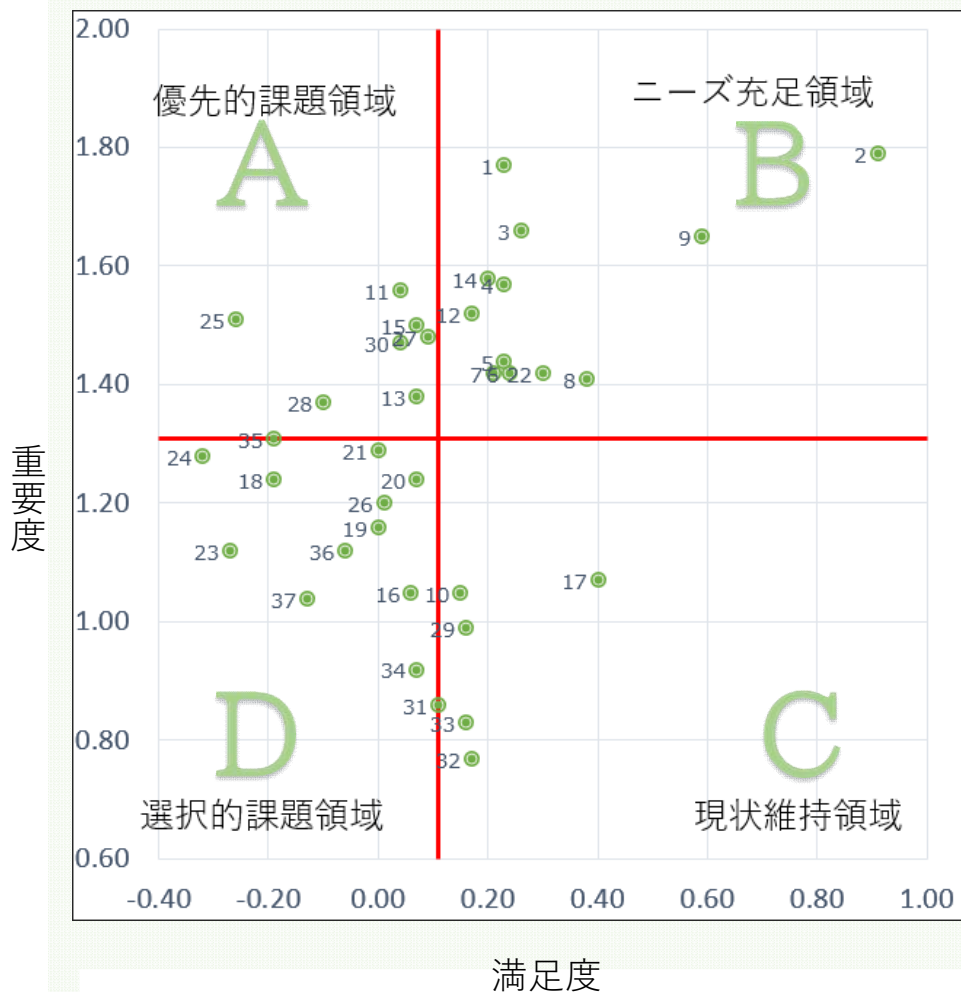
満足度



0% 20% 40% 60% 80% 100% 0% 20% 40% 60% 80% 100%

■ 重要でない(③又は④) ■ 重要である(①又は②) ■ 満足でない(③又は④) ■ 満足である(①又は②)

③ 施策に対する重要度・満足度に関する調査結果(3/3)



- A. 重要度が高く満足度が低い (優先的課題領域)
- B. 重要度、満足度ともに高い (ニーズ充足領域)
- C. 重要度が低く満足度が高い (現状維持領域)
- D. 重要度、満足度ともに低い (選択的課題領域)

	2点	1点	-1点	-2点	
重要度	重要である	やや重要である	あまり満足でない	重要でない	
満足度	満足である	やや満足である	あまり満足でない	満足でない	
領域	施策名		領域	施策名	
A	11.子育て支援		B	14.学校教育	
	13.若者・青少年			22.循環型社会	
	15.教育環境整備			C	10.運動・スポーツ
	25.道路		17.歴史文化		
	27.河川・下水道		29.景観		
	28.住宅		32.人権・男女共同参画		
	30.公共交通		33.平和・多文化共生		
35.行財政運営		D	16.生涯学習		
B	1.防災		18.商工業		
	2.消防・救急		19.観光		
	3.防犯・消費生活		20.農林業		
	4.交通安全		21.地球・生活環境		
	5.地域福祉		23.新たな土地利用		
	6.高齢者福祉		24.都市整備		
	7.障がい者福祉		26.公園・緑化		
	8.健康づくり		31.コミュニティ・市民協働		
	9.地域医療		34.広報・プロモーション		
	12.幼児教育・保育		36.公共施設マネジメント		
		37.ICTの利活用			

3. 調査結果の活用

- (1) 第6次総合計画前期基本計画の施策評価での活用
- (2) 第6次総合計画実施計画のローリングの基礎資料として活用